

## 第 43 回 CCAMLR 年次会合結果概要

(日本トロール底魚協会関連議題)

2024 年 10 月 14 日から 25 日に豪州のホバートで開催された CCAMLR (南極の海洋生物の保存に関する委員会) 年次会合に、当協会も出席しました。

### 1. 2024/25 年漁期のメロの漁獲上限

- 48.6 海区： 595 トン (昨年から 77 トン増)
  - うち 48.6.2 小海区： 152 トン (4 トン増)
  - 48.6.3 小海区： 50 トン (8 トン増)
  - 48.6.4 小海区： 151 トン (25 トン増)
  - 48.6.5 小海区： 242 トン (40 トン増)
- 88.1 海区： 3,278 トン (221 トン減)
- 88.2 海区： 1,384 トン (268 トン増)
- 58.4.1 小海区： 483 トン (前年同) (ただし操業禁止)

### 2. 保存措置の改定・採択等

#### (1) 小調査ユニット (SSRU) における調査投網の免除

開発漁業において規定されている調査投網について、漁具の流失や安全・人命にかかわる重大な事案が発生した際には、調査を中止することができること等を明確化。

#### (2) 海洋保護区 (MPA)

昨年に引き続き、東南極、ウェッデル海 (フェーズ 1&2)、南極半島周辺海域における MPA 設置が提案されたが、中国およびロシアの強硬な反対により合意には至らず、継続協議。

#### (3) 労働・安全基準に関する決議

漁船上の労働基準に係る国際約束の批准や措置の実施等を促す決議が提案されたが、中国およびロシアが CCAMLR の管轄外であること等を理由により強硬に反対し、不採択。

#### (4) オキアミ資源管理

48.1 海区のオキアミのトリガーレベル等を定めた保存措置 (CM51-07) が、中国およびロシアによる強硬な反対により更新されず、保存措置 CM51-07 が失効。

### 3. 次回会合

次回の年次会合は、2025 年 10 月 20 日から 31 日までホバートで開催することが、条件付きで合意 (ロシア代表団への円滑なビザ発給が条件)。 (以上)